

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

校名	府立茨木支援学校
校長名	大峠 貴弘

開催日時	令和7年6月5日(木) 10:00~12:00
開催場所	府立茨木支援学校 会議室
出席者(委員)	鈴木 博 閑喜 美史(梅花女子大学) 吉田 紳吾(摂津市障害者職業能力開発センター) 吉田 栄一((株)十全) 川又 澄子(地域コーディネーター) 林田 理恵子(PTA 会長) *敬称略
出席者(学校)	校長:大峠 准校長:紙野 事務長:谷口 教頭:木崎、岸尾 首席:助口、井上(中学部主事兼任)、平水、下田 部主事:板口、生野、田中 指導教諭:吉田 教務部長:細川
傍聴者	0名
協議資料	令和7年度 学校経営計画 令和7年度 授業アンケート 令和7年度 使用教科用図書一覧

議題等
<p>はじめに 事務局からの連絡、校長・准校長あいさつ、事務局自己紹介</p> <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校運営協議会委員の紹介</li> <li>2 学校運営協議会 会長選出</li> <li>3 学校見学</li> <li>4 令和7年度 学校経営計画について</li> <li>5 令和7年度 授業アンケート実施について</li> <li>6 令和7年度 使用教科用図書について</li> <li>7 意見書について</li> </ol>

## 8 その他(事務連絡等)

### 協議内容・承認事項等(意見の概要)

#### 2 学校運営協議会 会長選出

- 事務局より、会長に鈴木博氏を推薦。  
⇒全員一致で承認される。

#### 4 令和7年度 学校経営計画について

- 今年度の重点目標と具体的な取り組みについて説明(校長)

- ① 学習環境や生活の安全: 学校内の支援体制強化を目指す。いじめの定義と対策の徹底、緊急対応訓練の実施
- ② 保護者との連携強化: 学校ウェブサイトの更新と保護者への情報提供を定期的に行う。地域の学校と連携した児童生徒の交流や共同学習推進
- ③ 地域交流の推進: 地域福祉学校や他校との交流を積極的に推進。
- ④ 児童生徒一人ひとりに合った指導: 障害に応じた個別対応を強化し、キャリア教育を充実させる。
- ⑤ 組織改善: 公務員として、思いやりを持って関わり、協力し合い、高めあえる教職員集団づくり

- 今年度の全校ならびに高等部にかかる重点目標と具体的な取り組みについて説明(准校長)

- ① 個人情報管理: 今年度、高等部での個人情報取り扱いミスを受け、ヒューマンエラーをなくすシステムの運用とチェックリストの改善。
- ② 進路支援: 進路説明会や企業見学など、早期から進路選択をサポートする取り組み。
- ③ 職業基礎コースの内容充実: アビリンピックへの参加を目標として、生徒が職業スキルを高める。

#### ◆質問・意見等

- ・今年の3月に卒業した高等部生徒の進路状況をおしえていただきたい(委員 A)  
⇒昨年度の進路先について報告(准校長)

- ・気になることが何点かある。学校 HP を見たが、めざす学校像が更新されていない。チェック体制は大丈夫なのか。誰が責任をもって発信するのか確認できているのか心配である。  
ICT やギガスクール構想など、新しい知識が必要な環境になってきているが、情報部だけでなくすべての教員が専門外の知識を学べているのか気になる。(委員 B)

- ・地域との交流について、以前は学校を会場として地域の方、茨木支援学校の児童生徒、大学生のボランティアなど、さまざまな人が集まるイベントがあったと聞いている。茨木市には大学も複数あり、何か学校と学生が連携するような取組みなどがあればいいのではないかと。得意なことを活かしたい、役に立ちたいという人もいると思う(委員 C)  
⇒以前は本校に地域の方を招いたり、校外のイベントに本校の児童生徒が招待してもらえたりする関わりもあったが、コロナを機に減ってしまった。行事等についてはコロナ前に戻りつつあるので、地域交流についても徐々に広げていければと思う。また皆様にもご協力いただければと思う(校長)

⇒教育コミュニティー推進事業というものがあり、予算をつけて地域交流を進めている。福井地区の方と芋ほりやポッチャ大会を通して交流している。例年はひまわりフェスタでお手伝いをしていたが、こちらもコロナがきっかけで縮小、中止となってしまっている。また何かの形で皆様にもご協力をいただければと考えている(教頭)

・2点質問と情報提供がある。アビリンピックの出場とあるが、校内ではどのような頻度と内容で練習されているのか。希望する進路の選択というところで、就労選択事業については情報を共有しながら検討を進められたらと思う(委員 D)

⇒高等部の職業コースで水曜日の午前中 2 時間で取り組んでいる。名刺作成や清掃、喫茶サービスに取り組んでいる。午前中 4 時間を使って練習することもある(細川)

⇒文科省と厚労省からの通達で就労選択支援についての通達が来ている。基本は 1 ヶ月程度、場合に応じて 2 週間や 5 日程度ということも記載されているが、茨木市は 1 ヶ月を原則としていると聞いている(准校長)

○経営計画の中に書いてある「風通しの良い職場環境」について、教職員の評価が低い。この改善に向けて委員の方のご意見やお考えをお聞きしたい(准校長)

・娘が支援学校の現場で働いていることもあり、教職員の職場環境がシビアであることは感じている。特に、家庭やお子さんのいらっしゃる先生はお休みを取りやすいのかどうか。教員の世界ではまだ厳しい状況なのではないかと、個人的には思う(委員 A)

・地域の交流として体育大会に参加しているが、学校と地域の交流があることで意思疎通ができていて感じている。一方で高齢化も進んでおり、地域の若い人は支援学校の存在をご存じてでないこともある。何かそういった層に向けてアピールできるものがあればいいと思う(委員 E)

・人事に関わるシートやハラスメントに関するアンケートをとることもあるが、やはり働いている本人が職場のことをどう感じているのかが大切なのではないか。学校としての歴史があり、譲れない部分もあるかと思う。一方で、そこを超えて要求が上がってくることもあると思う。その辺のバランスをとることが大事。第三者の評価などを取り入れるのも改善の手立てになるのではないかと(委員 D)

・その組織の中で互いに話して、相手の思いを聞いて、感情を察する。それを受けてどうしていくか考えていくことに尽きるのではないかと思う。そもそも学校教育自己診断のアンケートにおいて、3%の向上というのは何のエビデンスをもってして決めていることなのか。先生たちの方からこういう風に上げていきたいという兆しがあるのか。子どもたちの授業の様子を見させていただき、ありがたかった。やはり一緒に対話する中で課題が発見できるのではないかと(委員 F)

・約 70 人の会社を経営しているが、いろいろな理由で退職する人がいる。後々になってハラスメントも含め、人間関係のことが原因だったとわかることもある。今は心理的安全性について幹部社員をベースに取り組んでいる。あとは、上司は若い人たちと接する際に、自分の固定概念を取り払って接していかないとうまくいかないと考えている(委員 C)

・個人としては「現場主義」が大切だと思い、日々努力してきた。校長だとしても調理員やバスの添乗員、運転手の方とも話をする機会を持つことで、いろいろな人の思いや考えを知ることができた。立場に関わらず、そういった細かいところに気を配れることは大切ではないかと思う(委員 B)

#### 5 令和 7 年度 授業アンケート実施について(教頭)

- ・実施方法:大阪府教育委員会からの様式を使用し、中学部、高等部の回答可能な生徒と保護者に配付する。
- ・実施時期:6 月と 12 月の参観週間に合わせて実施する。
- ・結果については第 2 回運営協議会にて報告する。

#### ◆質問・意見等

なし

#### 6 令和 7 年度 使用教科用図書について(教務部長)

- ・今まで児童生徒が採択した教科用図書を重複して選定しないように気をつけている。
- ・他校や出身校からの情報も集めている。
- ・年度初めには使用教科書一覧を保護者配付し、希望が出たご家庭には教科書の確認のための持ち帰りを実施している。継続使用の教科書についても保管方法に気をつけて紛失を防いでいる。

#### ◆質問・意見等

なし

#### 7 意見書について(教頭)

- ・今のところ意見書の提出はない旨の報告。

#### ◆質問・意見等

なし

#### 8 その他(事務連絡等)

- ・第 2 回学校運営協議会は 11 月、第 3 回学校運営協議会は 2 月に実施予定。

次回の会議予定日時と場所: 令和 7 年 11 月ごろ 於 本校会議室

